Nature Guide片手に歩いてみよう！研究スタッフおすすめのエリアをイラスト地図で紹介します。

信州自然ガイド No.4　～爺ヶ岳の自然～

種名	ひと言
ライチョウ	見るためには高山にのぼらなくては
ホトトギス	ウグイスのいるところどこでも
カッコウ	飯豊から種池山荘周辺で確認
アマツバメ	almost 暗くなった時をねらう
アオゲラ	
キョウジンボウ	ライチョウのヒナがあぶない？
ホシガラス	ハイマツの森をつくるとり。
キクイタダキ	針葉樹林にふつう。いこくて見分けやすい
ユガラ	
ヤマガラ	
ヒガラ	登山口から亜高山帯上部まで
ウグイス	背やぶのあるところどこでも。声がなければ…
ヤブサメ	
エナガ	
メボソムシクイ	亜高山帯の代表的なとり。ムシクイ兄弟。ジュリジュリジュリ
エゾムシクイ	ムシクイ三兄弟。ビーツーキョ、ビーツーキョ、がなり声が多
センダイムシクイ	ムシクイ三兄弟。低山にふつう。チョキョビー
キバシリ	出会うと ねぜかうれしい
ミソサザイ	小さい体ですが、声量はあつい。
コマドリ	涼しげな声えがり。出会える場所は限られ、約2,100m前後
コルリ	低山にふつう。ヒえがりコマドリに似るが、その前に「ヒッピッ」
ルリビタキ	亜高山帯の代表的なとり。
キビタキ	低山にふつう。最近、ふえているらしい。
オオルリ	日本三鳴鳥の一種。
イワヒバリ	その名生活はほとんど観察できない
カヤクグリ	イワヒバリと同様らしい
キビタキ	人家のあるところどこでも
ビンズイ	
ウソ	亜高山帯でふつう
クロジ	森にすむホオジロの仲間。

2017年6月23日に観察したとりたち

（製作　堀田昌伸）